

令和元年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 生命の星・地球博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検		第三者評価	
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向	評価のコメント及び今後の方向性等の提言
利用状況	満足利用者	82 %	来館者のニーズを把握し、魅力ある施設づくりに務める。	99.2%	○	来館者の意見やニーズを汲み取り、さらに魅力ある施設づくりにつとめる。	
	入館者	235,545人	より効果的な広報を実施し、さらに利用促進をはかる。	218,659人	△	広報の効果測定、新しいツールを利用した広報を実施し、さらに利用促進をはかる。	
	への教育・普及事業参加者	16,311人	魅力ある行事づくりをさらに進める。	14,171人	△	講座の開催時季や参加者の世代構成などを精査し、魅力ある行事づくりをさらに進める。	
	トインタナーネット	424,698件	利用者視点に立った情報や記事を増やし、サイトの魅力をさらに増す。	439,913件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時流に沿った記事をさらに増やすことによって、ウェブサイトの魅力を向上させ、アクセス数のさらなる増加を促す。	
資料・収蔵品	活用	館外貸出1,365 特別利用16,351 点	外部研究者との連携をさらに密にする。同時に、資料の蓄積を進め、利便性をさらに高める。	研究目的17,659 研究以外834 点	○ ×	外部研究者との連携をさらに深めると同時に、資料のさらなる蓄積、信頼の貯蓄、資料収集と資料に関する情報の発信につとめ、資料利用をさらに活性化させる。	
	維持管理	棄損無し	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。	棄損無し	○	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。また、紫外線や振動による劣化を予防する。	
調査研究	研究成果の公開(発表・印刷物等)	学術著作83 普及著作76 件	外部研究者との連携をさらに密にし、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	学術著作110 普及著作68 件	○ △	引き続き外部研究者との連携を進め、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	

情報発信	の事業情報	405 件	利用者視点に立った情報、記事の増容と更新を促すこととする。	682 件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時流に沿った記事をさらに増やすことによって、ウェブサイトの魅力を向上させる。
	事業等収入	観覧料 49,445 事業収入 2,846 千円	魅力あるテーマによる特別展・企画展の開催など、来館者増に繋がる各種の取組みを積極的に実施する。	観覧料 45,044 事業収入 2,677 千円	△ △	魅力ある特別展、企画展の開催や、幅広い内容の講座や講演会など、来館者増に繋がる各種の取組みを実施する。
	施設点検	点検を実施する	防火・防災について、来館者視点での点検を引き続き実施する。	点検を実施した		引き続き、来館者視点での点検を実施し、安全、安心を確保する。
施設運営等	自己研鑽及び					

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。